

# ProMED-mail情報 2019年 10月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

| 掲載日 | 表題                       | 概要  |
|-----|--------------------------|---|
| 31日 | 黄熱<br>ナイジェリア             | カツィナ州マタズ地方自治区での黄熱病による死者が115人に達したと新聞は報じているが、政府によれば3週間で45人が罹患し、うち18人が死亡との発表。州全体で6,729,000人が予防接種を受けた。  |
| 30日 | アフリカ豚コレラ<br>(ASF)<br>韓国  | 京畿道延川市の南北国境付近で、16頭目のASFに感染したイノシシを確認。2019年10月29日に民間人統制線から南へ3.5kmの地域でイノシシの死体を発見。9日前に同様のASF症例が確認された地域から約900メートル。   |
| 28日 | マラリア<br>インド              | 2018年パンジャブ州政府は、世界保健機関(WHO)と協力して、2020年までに州からのマラリア撲滅を推進している。パンジャブ州ではここ2年間マラリア患者が増加しており、9月の時点で前年の624例を上回る920例。   |
| 22日 | 狂犬病<br>米国                | ミシガン州オークランド郡ウェスト・ブルームフィールドで、スカンクの死体が狂犬病陽性。オークランド郡の保健当局によって2019年に検証された15例目(4匹のコウモリと11匹のスカンク)で、8例だった2018年同時期のほぼ2倍。州全体ではスカンクよりコウモリの感染例が多く、公衆衛生当局は、7月時点で2017年の2.5倍近くの狂犬病のコウモリを検証したと報告。        |
| 21日 | ラッサ熱<br>ナイジェリア           | 2019年9月30日～10月6日に7例が新たに確認。1月1日から10月6日までに、23州から合計4,019例の疑い症例が報告され、うち721例が陽性、18例がおそらく陽性、陰性が3,256例。2019年のアウトブレイク以来、確定例中の154例が死亡。死亡率は21.4%。主要な年齢層は21～40歳で男女比は1:1。                             |
| 20日 | クリミア・コンゴ<br>出血熱<br>パキスタン | 2019年10月17日、50歳農民男性が死亡。同国で19人目の死者。10月6日に高熱と体の痛みを発症。地元の診療所で治療を受けたが改善せず。保健サービス総局は、地域のウイルス監視体制を直ちに改善するよう勧告。  |
| 19日 | リフトバレー熱<br>スーダン          | 国際獣疫事務局(OIE)からのスーダンにおける家畜のリフトバレー熱出現速報を受けて、サウジアラビア環境・水資源・農業省(MEWA)は、スーダンとジブチからの家畜の輸入を停止。MEWAは検疫措置を強化し、保健省、サウジCDC、近隣諸国との間で、現状を評価するための調整を行った。  |
| 16日 | ウエストナイル熱<br>ヨーロッパ        | 2019年10月4日からの10日間で、EU加盟国はルーマニア(5)、ギリシャ(3)、ハンガリー(1)で計9例のヒト感染症例を報告。EU近隣諸国からはイスラエル(10)とセルビア(3)の13例が報告。今週、ギリシャ(2)とルーマニア(1)に3例の死者が報告。今回の流行期中に61例が報告されている。                                      |
| 15日 | 腸チフス<br>アイルランド           | パキスタン渡航者の腸チフス症例が増加。2019年に23例の感染例を確認。12例にパキスタン渡航歴があり、そのうち3例が超多剤耐性菌(XDR)に感染。パキスタンでは2016年以来継続して増加を認め、2019年9月にシンド州23区で10,365例のXDR感染者が報告。カラチが67%。オーストラリア、カナダ、デンマーク、台湾、英国、米国その他でも、同様のXDR感染例を確認。 |
| 11日 | 鳥インフルエンザ<br>フランス         | 中部のアヒル農場で低病原性H5鳥インフルエンザウイルス検出を国際獣疫事務局が確認。農業省は、放し飼いのアヒルは殺処分されるべきだと報告。  |
| 11日 | 仮性狂犬病<br>中国              | 仮性狂犬病ウイルス(PRV)は動物のみならずヒトにも病気を引き起こす可能性がある。急性脳炎症状を呈する5症例を検討したところ、PRV感染が確認。特に豚との接触例においては鑑別診断に含まれるべき。   |
| 6日  | 腺ペスト<br>コンゴ民主共和国         | 2019年9月25日、ウゴイ保健区のおメイ村で、げっ歯類とモルモットの死亡が報告。その後、腺ペストの定義と一致する家族4例が報告され、225人の村人にドキシサイクリンを予防投与。2019年9月27日以降の報告は12例。   |
| 3日  | マイコプラズマ肺炎<br>台湾          | 薬剤耐性のマイコプラズマ感染症が増加傾向。台湾におけるエリスロマイシン耐性の比率は以前の14%から70%に増加。日本では以前の5%程度から80%以上に増加。韓国は約80%、中国は90%以上。   |